




2012年度 上期決算説明会

2012.11.20

**代表取締役社長
浅野 茂太郎**

1. 12年度(上期) 連結決算概要
2. 12年度(通期) 連結計画
3. 「」の達成に向けて

- ・ 本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。
- ・ 本資料には、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

1.12年度(上期)連結決算概要



(単位:億円)

		11年度	12年度
		実績	当初計画
明治HD 【連結】	売上高	11,092	11,250
	営業利益	201	240
	経常利益	218	240
	当期純利益	68	118

食品	売上高	9,863	10,000
	営業利益	114	184

医薬品	売上高	1,252	1,283
	営業利益	81	54

(注)セグメントの計画値には 消去又は全社は含まれない

当初計画の前提

食品セグメント:

震災の影響が甚大であった
11年度業績からの回復
(特に利益面)

医薬品セグメント:

12年度薬価改定による影響を考慮

中期経営計画「TAKE OFF 14」で
掲げた戦略・施策を着実に実行し、
初年度としての弾みをつける

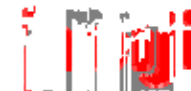


連結売上高は、ほぼ想定どおりに推移、
前年同期比2.4%増で着地

食品セグメントは、乳製品事業が好調に推移、
健康栄養事業の売上減を補う

医薬品セグメントは、薬価改定の影響がある中、
国内医薬品事業は前年同期を上回る

連結営業利益は、前年同期、計画とも上回る



(単位:億円)

	12年度 上期				
	実績	前年同期比		当初計画比	
		(増減率)	(増減額)	(増減率)	(増減額)
売上高	5,612	+2.4%	+131	+0.2%	+12
営業利益	100	+35.5%	+26	+25.6%	+20
経常利益	117	+36.1%	+31	+31.1%	+27
四半期純利益	52	+123.2%	+29	+22.5%	+9

(注) 当初計画は5月14日発表

前年同期比では増収増益。営業利益率は0.4ポイント改善

当初計画も達成。特に営業利益は、医薬品セグメントが大きく上乗せた結果

12年度上期としては、ほぼ想定どおりの推移



	12年度 上期
乳製品	実績
	3,148
	92

(乳製品事業：牛乳類、ヨーグルト、飲料、チーズ、バター、業務用乳製品等)

業績のポイント

< 売上高 >

市乳：ヨーグルトは、昨年度下期以降のシェア回復に加え、健康志向の高まりの中での積極的な販促活動が奏功し、売上は大幅拡大

乳食品：市販用ナチュラルチーズやマーガリン類の主力商品群が順調に拡大、3月発売の「明治ふんわりムースソフト クリーミースムース」も貢献

< 営業利益 >

主に市乳（プロバイオ・ヨーグルト）の好調により、大幅増益

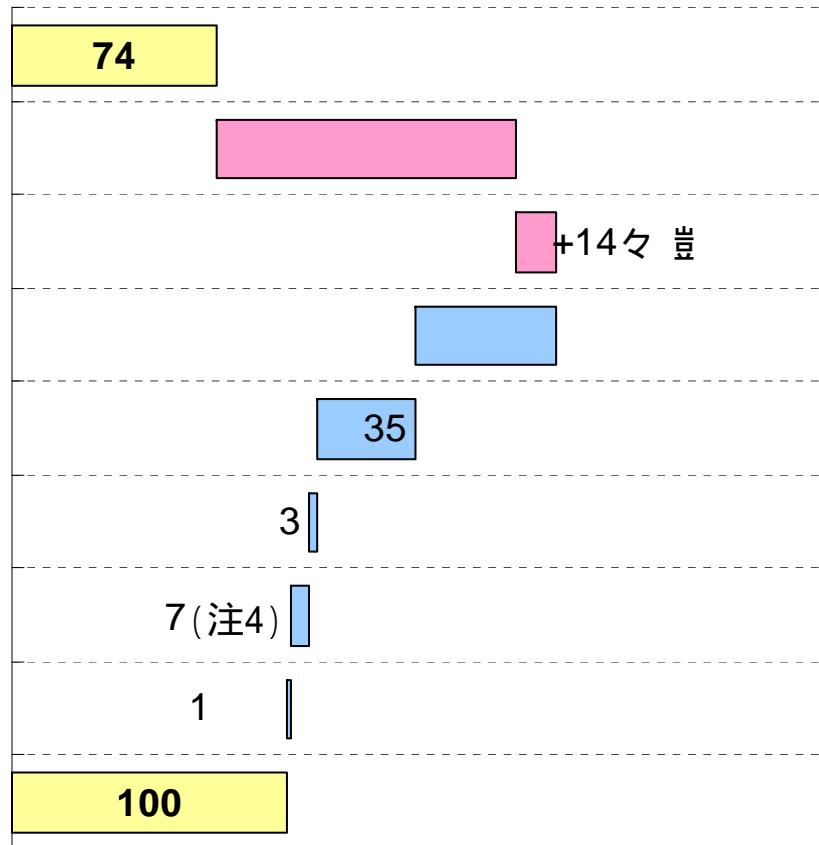
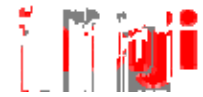
(注1) 当初計画は5月14日発表

(注2) 当初計画値および実績ともに、消去前の単純合算数値
以下、P.10まで上記の注意事項は同一とする



業績のポイント

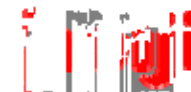
< 売上高 >
健康







(1) 連結計画 (下期・通期)



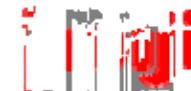
上期	12年度							
	前年 同期比	当初 計画比	下期 (修正計画)	前年 同期比	当初 計画比	通期	前年 同期比	当初 計画比
		+0.2% (+12)						
		+25.6% (+20)						
	+36.1% (+31)	+31.1% (+27)						
	+123.2% (+29)	+22.5% (+9)						

② セグメント別計画（下期・通期）



営業利益	65	+147.0% (+39)	+2.8% (+1)	120	+36.2% (+31)	0% (0)	186	+61.9% (+71)	+1.1% (+2)
------	----	------------------	---------------	-----	-----------------	-----------	-----	-----------------	---------------





(単位：億円)

	12年度								
	上期	下期 (修正計画)			通期 (修正計画)				
		前年 同期比	当初 計画比	前年 同期比	当初 計画比	前年 同期比	当初 計画比		
売上高	3,148	+7.7% (+224)	+2.9% (+87)	2,920	1.8% (52)	+1.0% (+28)	6,069	+2.9% (+172)	+2.0% (+116)
営業利益	92	+256.7% (+66)	+39.9% (+26)	65	11.0% (8)	+13.2% (+7)	158	+58.7% (+58)	+27.6% (+34)

(乳製品事業：牛乳類、ヨーグルト、飲料、チーズ、バター、業務用乳製品等)

下期の取り組み

プロバイオの生産能力強化と拡大へ

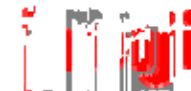
10月リニューアルの「ブルガリア」シリーズ定着

好調なマーガリン類の着実な育成



(注1) 下期・通期の修正計画は11月13日発表

(注2) 当初計画値および実績ともに、消去前の単純合算数値以降、P.19まで上記の注意事項は同一とする



(単位：億円)

	12年度								
	上期	下期 (修正計画)			通期 (修正計画)				
		前年 同期比	当初 計画比	前年 同期比	当初 計画比	前年 同期比	当初 計画比		
売上高	576	3.3% (19)	4.8% (28)	621	+6.9% (+40)	3.8% (24)	1,197	+1.7% (+20)	4.3% (53)
営業利益	10	(9)	(10)	14	(+23)	26.2% (5)	3	(+14)	81.1% (15)

(健康栄養事業：スポーツ栄養、健康機能、食品、OTC、流動食、病態食、粉ミルク等)

下期の取り組み

「アミノコラーゲン」「ザバス」「ヴァーム」などの販促・普及強化
 9月リニューアルの粉ミルク活性化と、流動食・介護食の拡大
 事業トータルで収益力の改善を推進



	12年度								
	上期	下期			通期				
		前年 同期比	当初 計画比	(修正計画)	前年 同期比	当初 計画比	(修正計画)	前年 同期比	当初 計画比
売上高	584	0.2% (1)	0.4% (2)				1.7% (+15)	1.2% (14)	1,268
営業利益	33	23.4% (10)	+136.4% (+19)						



医療用医薬品事業:

「リフレックス」「オラペネム」の伸長

9月新発売 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 治療薬

「オーキシス タービュヘイラー」の定着

6月および12月発売のジェネリック医薬品に期待

生物産業事業 (農薬・動物薬):

「オリゼメート」の拡販と「ザクサ液剤」の効果認知度アップ

コンパニオンアニマル (ペット) 用薬事業の強化



3. 「 」の達成に向けて

基本方針

収益性向上と飛躍に向けた戦略投資

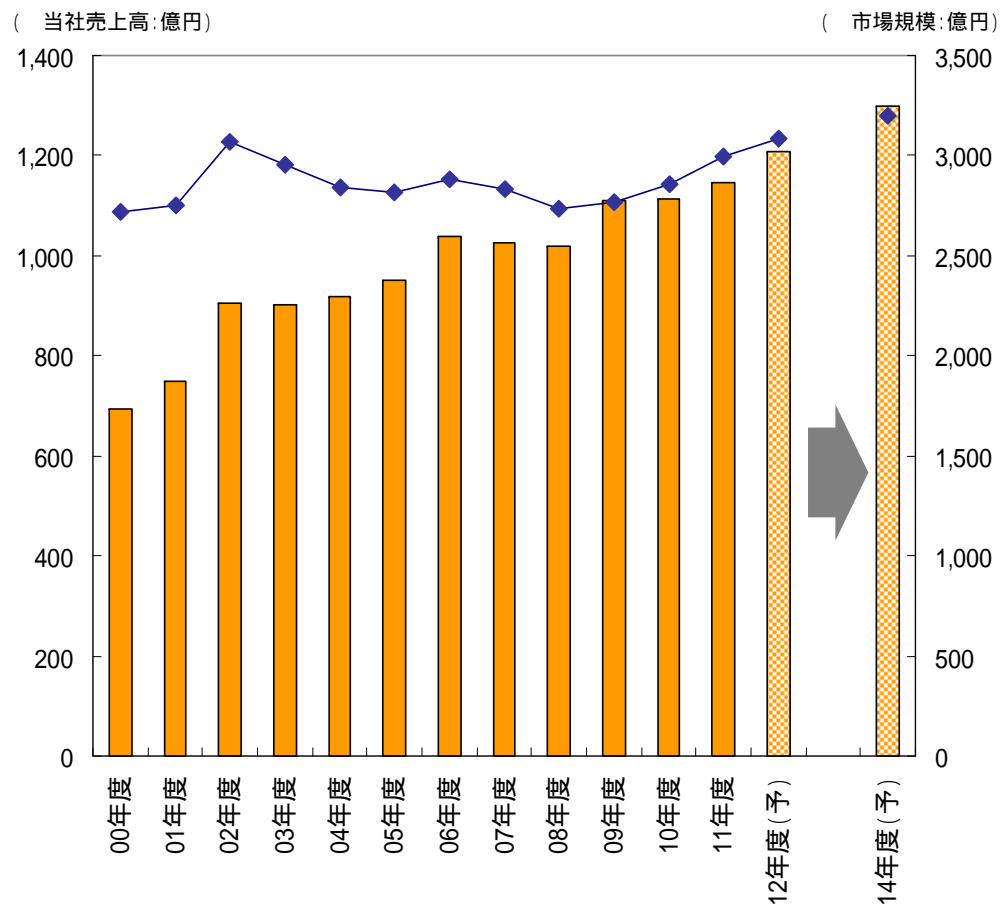
1. 既存事業の強化・拡大 (成長・優位事業)
2. 成長事業の育成 (新規・海外事業)
3. 収益性の向上

数値目標

	14年度
売上高	1兆1,900億円
営業利益	400億円
ROE	7%



ヨーグルト市場規模・当社売上高の推移



健康志向の高まりを背景に、
成長が続く市場

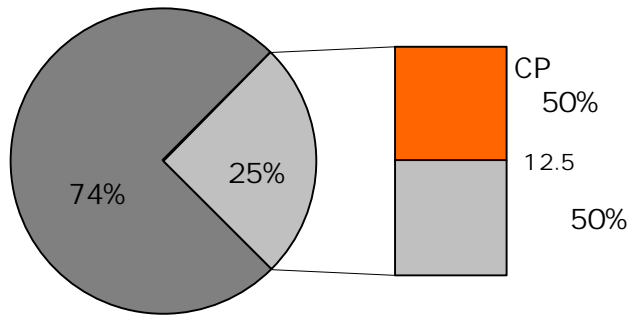


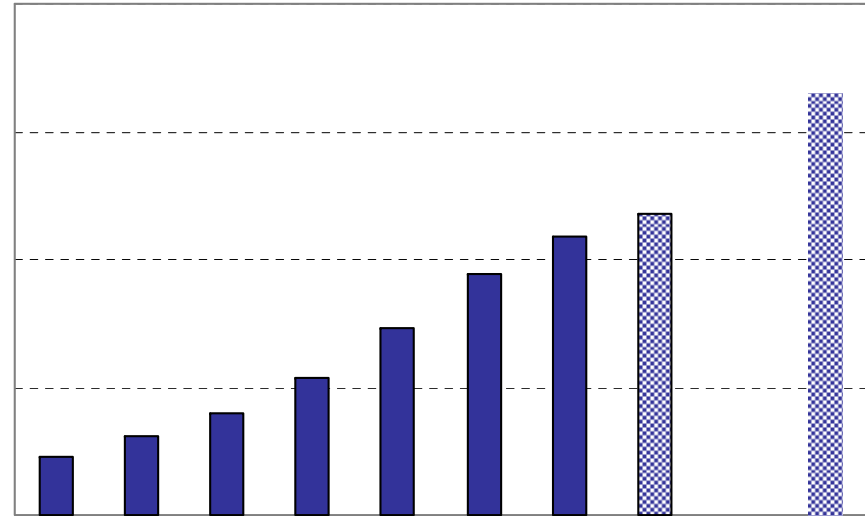


2010 5

2015 200

40





グローバルで収益性の高い生産構造の実現、
新興国を中心とした売上高の拡大

	12年度				12年度～14年度
	上期	前年 同期比	通期 (修正計画)	前年 同期比	
減価償却費	180億円	2億円	382億円	+3億円	1,265億円
フリーキャッシュフロー	52億円	+217億円	30億円	+167億円	153億円
(うち、営業CF)	198億円	+135億円	535億円	+229億円	1,705億円
有利子負債	2,041億円	+27億円	2,107億円	+54億円	2,100～2,300億円
ROE	1.8%	+1pt	4.0%	+1.6pts	7%
配当	40円		80円		

(注1) 設備投資額、減価償却費は有形固定資産(リース含む)の支払いベース。ただし、設備投資額の計画(通期および中計期間)には無形固定資産(リース含む)も含む

(注2) フリーキャッシュフロー = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー

(注3) 有利子負債には割引手形・リース債務を含まない

(注4) ROE = 当期純利益 / 期中平均株主資本

設備投資は計画どおりに進めているが、通期598億円の当初計画を、437億円に見直し。ただし、「TAKE OFF 14」期間中の設備投資計画には変更なし

